



近畿運輸局 観光部 観光地域振興課
地域係長

【事務官】平成30年10月入局

略歴

令和2年4月 近畿運輸局 総務部 人事課

令和3年12月 大阪運輸支局 監査部門
運輸企画専門官

令和5年4月 近畿運輸局 観光部
観光地域振興課 地域係長

近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

採用面接時に感じた職員の人柄の良さです。私自身は民間企業からの転職であり、結婚を期に働き方を変えたいと考え、公務員試験を開始しました。その中で近畿運輸局に興味を持ったきっかけは、実家が青果業であったことから荷主として幼い頃からトラックが身近であり、物流に親しみがあったことです。そして、他の官庁や自治体と比較する中で、こういった仕事をするかも大事ですが、どんな人たちと仕事をするかが私は重要であると思い、人の良さを最も感じた近畿運輸局に入局することを決めました。

現在はどんな業務に携わっていますか。

現在は観光部にて、観光を通して地域振興を促進していくという業務に携わっています。具体的には自治体やDMO(観光地域づくり法人)、関連事業者より地域の観光に関する相談を受け、観光庁や運輸局の事業を通じて解決を図ったり、コミュニケーションを積極的にとり、一緒に案件の形成を行ったりしています。まだまだ知識や経験が不足しておりますが、毎日全力で観光地域づくりを考えています。また、来年に大阪・関西万博が迫っており、そこに向けて活発になっている動きに合わせ、様々な取り組みを行っています。

これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

前所属の監査部門での業務です。事故や違反を犯した運送会社へ立ち入り監査を実施するのですが、監査の結果事業者に対して不利益な処分を科すことになるため、歓迎を受けることはありません。そんな中、訪問時に反発を受けた事業者に対し、粘り強くコミュニケーションを取り、無事監査を結了させることができ、最終的には事業者と良好な関係を築けた点は印象に残っています。その後、その事業者は不利益処分とはなったものの、改善に向け、当局の指導をしっかりと受け止めて貰い、安全に対する意識が大幅に変わりました。

近畿運輸局の魅力って何だと思えますか？

国土交通省という大きな枠で見れば、私たちが生活している中で、見たり触れたりするものの殆ど全てに携わっています。その中で近畿運輸局は人の移動や物流、観光というフ面に携わる業務がメインとなります。私たちの仕事は人々が暮らしていく上で、欠かすことの出来ないものです。そこにやりがいや魅力があると思っています。

また、近畿の国家一般職の中では、引っ越しを伴う異動が他官庁に比べ少ないので、ライフプランを立てやすいことも魅力の1つであると考えます。

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

官庁訪問を楽しんでください。面接等あるかと思いますが、用意した言葉を話すのではなく、世間話をするような気持ちで臨んでみてください。出来るだけ多くの官庁を訪問し、自分の雰囲気合う官庁を探してみてください。どんな仕事も楽しいこともあれば辛いこともあります。その時に乗り越えることが出来そうな雰囲気の職場を選んでください。運輸局にはそれがあると思っていますので、是非ご縁あって皆さまと一緒に仕事出来る日を楽しみにしています！

